

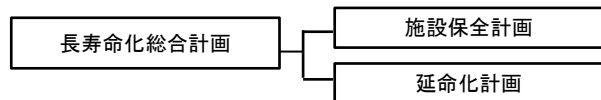
案件 3

「茨木市長寿命化総合計画の進展について」

茨木市一般廃棄物処理施設長寿命化総合計画の進展について

1 長寿命化総合計画の構成

廃棄物処理施設のストックマネジメントに関し、所管自治体が定める具体的な計画を「長寿命化総合計画」という。同計画は、施設保全計画及び延命化計画の2つを指す。



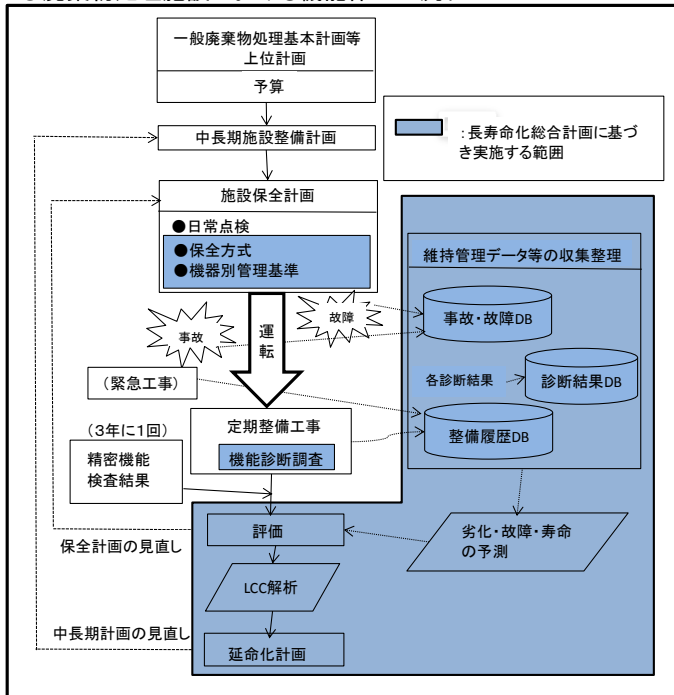
※施設保全計画…施設の性能を長期に維持していくために、日常的・定期的に行う「維持・補修データの収集・整備」、「保全方式の選定」、「機器別管理基準の設定・運用」、「設備・機器の劣化・故障・寿命の予測」等の作業計画。これらの作業により、設備・機器に対し適切な保全方式及び機器別管理基準を定め、適切な補修等の整備を行うことにより設備・機器の更新周期の延伸を図る。

※延命化計画…施設の性能を長期にわたり維持するには、適切な施設保全計画の運用に努めることが重要であるが、それでもなお生じる性能の低下に対して必要となる基幹的設備・機器の更新等を適切な時期に計画的に行うことにより、施設を延命化する計画。

2 長寿命化総合計画策定により見込まれる効果

- (1) 施設保全計画の適正な実施・運用により、施設の機能低下速度が抑制され、長期にわたり適正な運転を維持することが期待できる。
- (2) 計画的に適時的確な設備・機器の延命化対策を実施することにより、施設の性能水準の回復をはかり、長寿命化を達成できる。

○廃棄物処理施設における機能保全の流れ



3 延命化効果のまとめ

廃棄物処理施設のLCCを比較した結果、「延命化する場合」は「施設更新する場合」に比べて約110億円の節減ができると結論づけられた。

○廃棄物処理施設のLCCの比較

(税抜 単位:千円)

比較項目	検討対象期間	
	(令和元年度～令和22年度:22年間)	
	延命化する場合	施設更新する場合
点検補修費	15,171,316	9,781,265
建設費		31,629,632
延命化工事費	8,344,398	
大規模改修工事費	2,578,390	
小計	26,094,104	41,410,897
残存価値	現施設	
	新施設	4,251,975
合計(残存価値控除)	26,094,104	37,158,922

4 延命期間中の施設整備等のスケジュール

